

日本製鉄グループ内で発生した5件の災害を報告します。
類似災害防止に活用下さい。

<日本製鉄グループ災害の概要>

1	5/26	NIPPON STEEL THAI SUMILOX CO.,LTD.
	・被災者	23歳
	・休業見込	4日
	・傷病名	右手第二指切創
	・概要	プレス加工母材の溶接準備作業中、右手第二指が鋼板エッジ部に接触し切創した。
2	5/28	大阪製鉄（株）大阪事業所 堺工場
	・被災者	30歳 製鋼課
	・傷病名	顔面熱傷、結膜熱傷
	・休業見込	3日以上
	・概要	鍋SN酸素洗浄作業中に詰物が噴き出し顔面を熱傷
3	6/23	黒崎播磨株式会社 WKS(無錫黒崎蘇嘉耐火材料有限公司)
	・被災者	52歳 WKS EN工場
	・休業見込	14日
	・傷病名	左手人差し指先端打撲及び切創
	・概要	研磨機研削液供給口の高さ調整の際、ハンマーで左手人差し指を叩いた。
4	6/26	光和精鉱(株) 製造部 PCB処理
	・被災者	24歳 鉄鋼処理産業株式会社/株式会社小野総建
	・休業見込	3週間
	・傷病名	左第二指挫滅創 左第二指末節骨粉碎骨折
	・概要	焼却パレット上の鉄箱を持ち上げて下部の隙間にリン木を入れようとした際、リフトの爪が滑り鉄箱が落下し鉄箱とリン木の間指を挟んだ
5	6/26	日鉄スチール（株）圧延工場 圧延棟
	・被災者	56歳 大阪富士工業（株）
	・傷病名	出血性ショック、骨盤骨折（死亡）
	・休業見込	-
	・概要	圧延ロールにレストバーを取付ける際、架台からロールが滑り落ち挟まれる

休業災害速報(社員)

発生事業所	NIPPON STEEL THAI SUMILOX CO.,LTD.		発生日時	2022年5月26日(木) 16時34分頃		
発生場所	プレス工程		作業区分	定常作業		
被災者	所属	NIPPON STEEL THAI SUMILOX CO.,LTD.	役職	一般	勤続年数	0年9ヶ月
			年齢	23才	作業経験	0年9ヶ月
	氏名	A 氏	性別	男性	(構内経験)	(0年9ヶ月)
傷病名	右手第二指切創				休業見込み日数	4日

災害の概要 **プレス加工母材の溶接準備作業中、右手第二指が鋼板エッジ部に接触し切創した。**

16:29 被災者Aは前コイルのプレス加工を終え、次コイルの外周端末と前コイルの尾端を溶接するための準備作業に着手。

16:32 被災者Aはアンコイラーの手動ハンドルを使ってアンコイラーに装着した次コイルを時計回りに回転させ、外周端末を解き溶接機の前へ誘導した。

16:34 被災者Aは外周端末先端を溶接機内部へセットしようとした際、アンコイラーから解いた端末の長さが短いことに気が付き、アンコイラーを追加で回転させようと考えた。

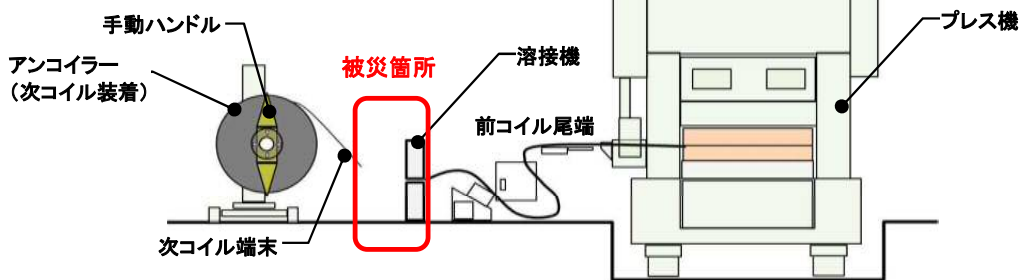
端末先端へ添えていた右手をアンコイラー手動ハンドルの方向(左方向)へ動かした際に、右手第二指が鋼板エッジ部へ接触。

切創したことに気が付いた被災者Aは直ちに同僚へ報告。同僚は安全専任者へ報告した。

16:40 被災者を病院へ搬送した。

(発生状況の図、写真など)

〈被災箇所〉



〈被災状況(再現)〉



写真1. 端末を溶接機へセット

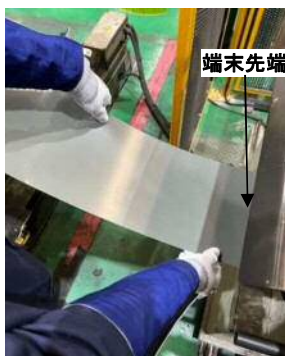


写真2. セット時の手元



写真3. 被災時の手元

端末から右手を離し、左方向(アンコイラー手動ハンドル)へ動かした際に鋼板エッジ部と接触

(被災時保護具装着状況) ヘルメット、アームバンド 手袋、安全靴

休業災害速報(社員)

発生事業所	大阪製鐵(株)大阪事業所堺工場		発生日時	2022年 5月 28日(土) 18時 35分		
発生場所	堺工場鍋整備場		作業区分	定常作業		
被災者	所属	大阪事業所堺工場	役職	一般	勤続年数	12年 2ヶ月
		製鋼課	年齢	30歳	作業経験	10年 4ヶ月
	氏名	A 氏	性別	男・女		
傷病名	顔面熱傷、結膜熱傷				休業見込み日数	3日以上

災害の概要 **鍋SN酸素洗浄作業中に詰物が噴き出し顔面を熱傷**

災 害 状 況	5月28日
	15:00 II 勤B班、TBM実施後、I 勤からの操業を引継ぎ作業開始。
	17:00 LF処理中(12号鍋)、溶鋼攪拌用のArが途中で吐出不良となり、処理を中断。
	18:00 溶鋼を11号鍋に移し替え、LF処理再開。以降、操業は継続。
	18:35 A氏は、12号鍋のスライディングノズル(SN)内を酸素洗浄する作業を開始。 (耐熱服、保護面、矯正眼鏡、遮光眼鏡、アルミ手袋を着用)
	SN内に詰物が残っていたため、酸素を少しだけ出して、先に詰物を除去しようとした。
	その際、バルブ操作を誤り、一気に酸素が出てしまった。(推定)
	そのため、詰物が酸素とともに勢いよく跳ね返り、その勢いにより、保護面がめくれ上がり、A氏の顔面に詰物が直撃し、被災した。
	A氏は、詰所へ戻り、顔を水で冷却。
	近くにいたLF作業員B氏が被災したA氏を確認し、作業長C氏に報告。
18:50 作業長C氏は、救急車を要請。	
20:00 大阪急性期・総合医療センターにて軟膏処置、目の状態を経過観察する必要があり入院。	

(発生状況の図、写真など)



写真：SN酸素洗浄作業

(耐熱服、保護面、矯正眼鏡、遮光眼鏡、アルミ手袋を着用)

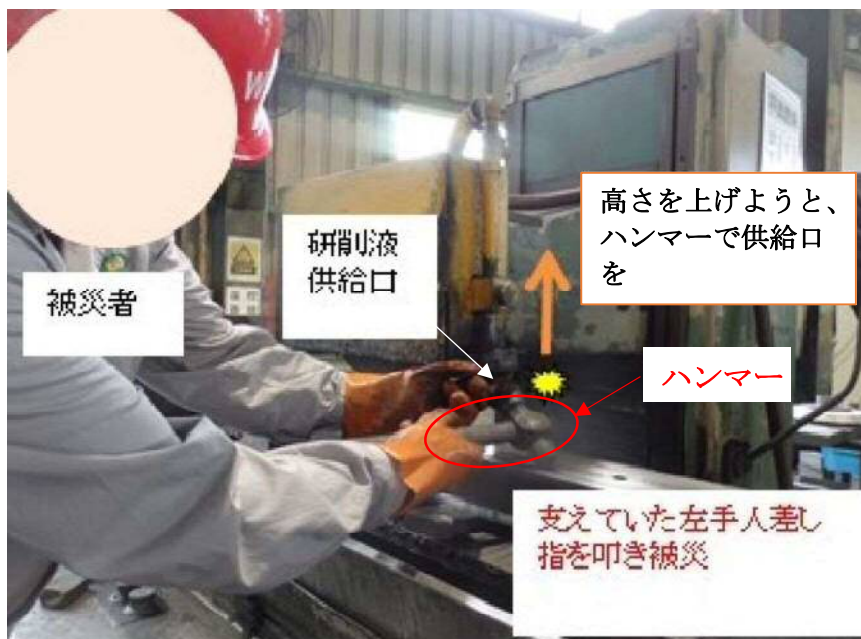
休業災害速報(海外連結子会社)

発生事業所	WKS(無錫黒崎蘇嘉耐火材料有限公司)		発生日時	2022年6月23日(木曜日) 17時10分頃		
発生場所	WKS EN工場		作業区分	その他		
被災者	所属	WKS EN工場	役職	一般職	勤続年数	21年 7ヶ月
			年齢	52歳	作業経験	15年 7ヶ月
	氏名	A 氏	性別	男	(構内経験)	—
傷病名	左手人差し指先端打撲及び切創				休業見込み日数	14日(見込み)

災害の概要 **研磨機研削液供給口の高さ調整の際、ハンマーで左手人差し指を叩いた。**

災害状況	16:30 被災者はライナーの研磨作業を開始。
	17:00 砥石が摩耗で小さくなっており、研削液供給口がライナーに接触しそうであったので、一旦設備を止め、供給口の高さ調整を開始した。
	17:10 供給口が固着しておりハンマーで供給口位置を上げる様叩いたが動かず、力を入れて再びハンマーで叩く際、添えていた左手人差し指先端を叩き被災。保護手袋をしていたが人差し指を切創しており、救急車を要請した。
	17:30 救急車が到着し、病院へ搬送
	19:00 被災者は処置を受け帰宅した。(一週間後再診断予定)

(発生状況の図、写真など)



自社災害 ※6/29再診にて7/1に再生手術および3週間の入院が判明したため休業扱いに変更。

休業災害速報(社員/協力会社)

発生事業所	光和精鋳(株) 製造部 PCB処理課		発生日時	2022年 6月 26日 (日) 7 時 15分頃		
発生場所	PCB処理課 固定炉焼却物仮置場		作業区分	非定常作業		
被災者	所属	鉄鋼処理産業株式会社	役職	一般	勤続年数	4年 2ヶ月
		— 株式会社小野総建	年齢	24歳	作業経験	4年 2ヶ月
	氏名	A	性別	男・女	(構内経験)	4年 2ヶ月
傷病名	左第二指挫滅創 左第二指末節骨粉碎骨折				休業見込み日数	3週間
災害の概要	焼却パレット上の鉄箱を持ち上げて下部の隙間にリン木を入れようとした際、リフトの爪が滑り鉄箱が落下し鉄箱とリン木の間に指を挟んだ					
災害状況	<ul style="list-style-type: none"> ・6:45 班員6名で始業ミーティングを実施した。 ・7:00～ リフト運転者Bとリフト誘導者A(被災者)とで焼却後の仮置場片付け作業のTBMを実施し作業を開始した。 リフト運転者Bが12tリフトで鉄箱を持ち上げてリフト誘導Aが焼却パレットと鉄箱の間にリン木を入れようとした際、リフトの爪が滑り鉄箱から外れ落下、鉄箱とリン木の間にリフト誘導Aの左手人差し指と親指が挟まれた。 ・7:16 リフト運転手Bがリフト誘導者Aの異変に気づき確認したところ指先から出血があったため班長に報告した。 ・7:18 飛幡門保安センターへ救急車要請連絡実施。 ・7:20 班長より作業長(休日)へ電話で報告。 ・7:25 救急車到着。 ・7:40 光和精鋳から製鉄記念病院へ救急車出発。 製鉄記念病院診察:外科 K医師 傷病名:左第二指挫滅創 左第二指末節骨粉碎骨折 処置内容:抗生剤点滴、破傷風予防注射、止血処置、レントゲン ※6/29整形外科再診察で7/1手術・3週間入院が決定 ・10:40 光和精鋳(株)場内へ帰社、仕事に戻る。 					

(発生状況の図、写真など)



【訂正版】

6月28日付で発行した本速報の内容に誤りがありましたので再発行致します。
 災害状況欄の内容に関し、A氏の作業指導書違反と受取られる表現を訂正致しました。
 申し訳ございません。

2022年 6月30日
 日鉄スチール(株)

死亡災害速報(協力会社)

発生事業所	日鉄スチール(株)		発生日時	2022年 6月26日(日) 9時30分頃		
発生場所	圧延工場 圧延棟		作業区分	定常作業		
被災者	所属	大阪富士工業(株)	役職	一般	勤続年数	17年 2ヶ月
			年齢	56才	作業経験	1年 6ヶ月
	氏名	A氏	性別	男	(構内経験)	(17年 2ヶ月)
傷病名	出血性ショック、骨盤骨折			休業見込み日数	死亡	

災害の概要 **圧延ロールにレストバーを取付ける際、架台からロールが滑り落ち挟まれる**

災害状況	7:00	作業前ミーティング及び作業前KYを実施。
	9:00	圧延ロールにレストバー ^{※1} を取り付け開始。(補助者:被災者A、同僚B、無線クレーン操作者:C)
	9:27	下ロールの前後面と上ロール後面の取り付け完了。上ロール前面の取り付けを開始。 レストバーをクレーンにて搬送し、被災者Aが北側、同僚Bが南側を担当し、レストバーの取付け位置合わせを実施。
	9:30	補助者AとBの上ロールレストバーの位置合わせが終了した。被災者Aは一連の作業である下ロールボルト取付作業のためロール間北側に移動した。(この移動についても、定常作業の範囲内であり、上ロールと下ロールの間に移動することは一切禁止されていない)
		操作者Cのクレーン走行インチング操作にてレストバーを最後まで押し込もうとした際、上ロール ^{※2} がロール架台から下ロール側に落ち作業中の被災者Aが上ロールと下ロールとの間で挟まれた。
	9:39	被災者Aを救出し、救急車を要請した。 ^{※1} :レストバー:ガイド(誘導装置)や冷却装置を取り付ける為のバー 重量 1.2t ^{※2} :上ロール:(幅)1.5m×(高さ)1.3m×(長さ)5.7m 総重量 約32t

(発生状況の図、写真など)

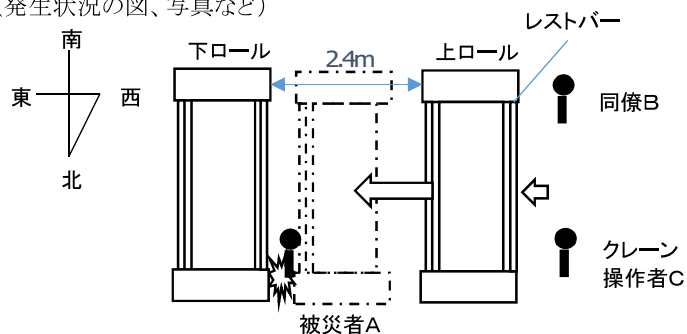


図1 被災時の作業配置

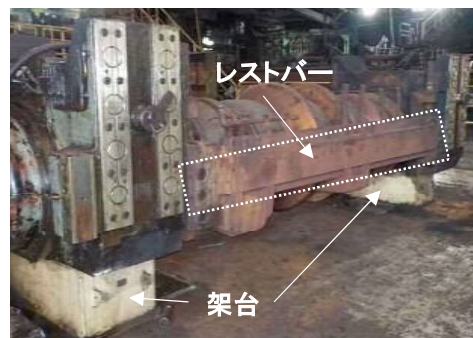


写真1 レストバー取付け状態



写真2 被災前の状況

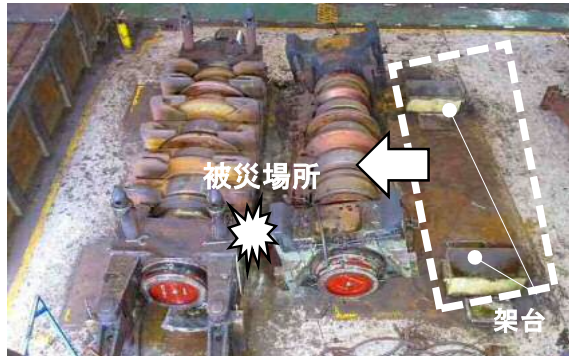


写真3 被災後の状況